

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部	中学部		学 年	1年	
教科等名	自立活動		グループ名	A組	
ねらい	・人と接する際の適切な距離を保つことができる。 ・自らの意思を伝えたり、他者の思いを受け止めたりしながら行動しようとする態度を養う。 ・体の動かし方を知り、目と手の協応動作の力を高め、自分でできることを増やす。				
担当教員	○窪谷 優孝 赤堀 弘樹 趙 里愛 後藤 紗希 弘原海 伸也				
予定授業時数	73				
使用教科書					
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4 5 6 7	・持ち物を整理しよう ・姿勢を正そう ・個別課題	○	＜健康の保持＞ ・生活リズムの形成 ・体温の調節(衣服の着脱等) ・手洗い・うがい、歯みがき ・運動(ストレッチ、模倣など) ＜心理的安定＞ ・授業への見通しをもつ ・変化への対応の仕方を知る ・日常生活の指導において、「楽しかったこと」や「頑張ったこと」を発表する ・感情や行動のコントロール	＜知識・技能＞ ・机に閉まってある椅子を引き、座ることができる。 ＜思考・判断・表現＞ ・イラストや写真を見て同じところに荷物を置くことができる。 ＜主体的に取り組む態度＞ ・排せつ後や給食前に、自ら手洗いをすることができる。	・教室の床に机の脚をテープで貼り示す。イスを引く際に、「引きます。」など、言葉掛けをし、徐々にその支援を減らす。タブレット端末を活用して動画を撮り、振り返る。 ・物を置く位置に写真やイラストを貼る。 ・手洗いの手順を統一する。
9 10 11 12	・係活動に取り組もう ・安全に行動しよう ・個別課題	○	＜人間関係の形成＞ ・他者の意図や感情の理解 ・自己の理解と行動の調整 ・学級、学年、学部集団を意識した活動 ・係活動 ・個別課題学習 ＜環境の把握＞ ・授業で使用する教室を把握する ・授業の始まりと終わりの挨拶を知る	＜知識・技能＞ ・手元をよく見て、物を掴んだり、シールを貼ったりする。 ＜思考・判断・表現＞ ・自他の安全に留意しながら移動ができる。 ＜主体的に学習に取り組む態度＞ ・係活動に自らすすんで取り組むことができる。	・適切な距離を事前に提示する。視覚支援として、床にテープを貼ったり、ポールやコーンを使ったりする。 ・プットイン課題やペグ差し課題、アプリでの平仮名なぞり課題などを、毎日繰り返し取り組む。 ・毎日繰り返し取り組める係活動を、設定する。
1 2 3	・自分の気持ちを伝えよう ・体を大きく動かそう ・個別課題	○	＜身体の動き＞ ・身体操作能力(模倣など) ・手指の巧緻性を高める学習 ・目と手の協応動作 ＜コミュニケーションに関すること＞ ・自分の気持ちを伝える ・相手の要求や指示に応じる	＜知識・技能＞ ・自分の気持ちを言葉やサインで相手に伝えることができる。 ＜思考・判断・表現＞ ・サインやカードで、自分の意思を伝えることができる。 ・教員の手本を見て動作を模倣することができる。 ＜主体的に学習に取り組む態度＞ ・課題にすすんで取り組み、準備や片付けも行うことができる。	・写真カードや言葉、サインなどで自分の気持ちを伝える方法を指導する。 ・授業や気持ちを表すイラストをアプリで示し、選択できるようにする。 ・生徒が手本に注視できるように、提示する距離やタイミングを工夫する。または一緒に身体を動かす。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。